

第12回土佐がのもどりカツオ祭

カツオの水揚げ量県下一を誇る黒潮町佐賀。「第12回土佐がのもどりカツオ祭」を10月17日、黒潮一番館で開催しました。

漁師のおかみさんたちが、1年の豊漁と海上安全を感謝する気持ちから、平成16年、黒潮一番館の開館1周年を期に始まったもどりカツオ祭。

当日は、幡多地域の食材やカツオを使った飲食店がたくさん出店し、カツオの1本売りでは販売開始1時間前から行列ができました。毎年大好評の「カツオ御前」は、当日券も販売しましたが、2時間ほどで完売しました。



飲食店のほかに特設ステージ前では、フラダンスショーや鳴子踊りが披露されました。また、魚の重量当てクイズや、早食い競争、カツオの1本釣りゲームなど、来場者の参加型ゲームも、盛り上がりしました。

毎年、規模が大きくなっているもどりカツオ祭ですが、今年は過去最高の1万2千人が来場し、2.5トンのカツオを消費し大盛況でした。



- 1 新鮮なカツオがたくさん用意されました。
- 2 毎年好評の早食い競争。
- 3 かつおの1本釣りゲーム。
- 4 漁師さんがいっぱいカツオを捌いてくれました。
- 5 魚の重量を当てる〇×クイズ。

第53回大方の秋まつり・第3回黒潮町まるごと産業祭

11月8日、土佐西南大規模公園体育館周辺で「第53回大方の秋まつり・第3回黒潮町まるごと産業祭」を行いました。

昨年からは11月の第2日曜日に、ふるさと総合センターなどで行ってきた秋まつりと産業祭を同時開催しています(大方の秋まつりは7・8日と開催)。

当日朝、雨の中開会式が行われましたが、午後になると天気も良くなりたくさんの方が来場しました。ステージでは、太極拳、フラダンス、子どもたちによるダンスショーがあり、体育館内では児童・生徒・一般の方の作品展示をしました。駐車場では特産品マーケット、隣接敷地では、毎月第2日曜日に開催している幡多・マーケット「海辺の日曜日」も同時開催しました。



まると産業委会場。今年も天気が良く、たくさんの方が来られました。

海辺の日曜日にもたくさんの方が来られました。



大方くじら保育所の子どもたちによる合同作品なかも。



田ノ口小学校6年生の共同作品「ぼくたちの夏休み」。



太極拳黒潮町教室の方による太極拳。



幡多舞人のよさこい踊り。たくさんのお子さんが集まりました。



土佐くろしお鉄道キヤクター「サニーク」も来てくれました。



イベント最後は、もち投げが行われました。